＜２０１５年１月２７日（火）付けで、１６，０００ＤＬ突破!!＞ｉＰｈｏｎｅ，ｉＰａｄ電子書籍アプリ『「人との距離感」が上手い人下手な人』大好評配信中!!

株式会社オープンアップス（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：加藤秀樹）がiPhone,iPad電子書籍アプリとして開発販売を行った『「人との距離感」が上手い人下手な人』が２０１５年１月２７日（火）付けで、累計１６，０００ＤＬを突破したことを発表しました。

◆「人との距離感」が上手い人下手な人

App Store からダウンロード

http://itunes.apple.com/jp/app/rentono-ju-li-gan-ga-shang/id555236652?mt=8

ゲームもいいけど少しは自分への投資も大切！ベストセラー作家、渋谷昌三氏の今年刊行されたばかりの人気新刊本『「人との距離感」が上手い人下手な人』がｉＰｈｏｎｅ・ｉＰａｄ電子書籍アプリで読める！

相手との「適正距離」が身につけば、人間関係必ず上手くいく！
「相手との距離のとり方」を適格にアドバイス！

本書のキーワードは、「パーソナル・スペース(心理的なわばり)」。これは「自分が快適であるために必要な占有空間」といった意味です。たとえば、混んだ電車に乗合わせた時。不快に感じるのは、他者が自分に近すぎて、他者が自分の「パーソナル・スペース」に侵入してきたことに因ります。

また、「パーソナル・スペース」の問題は、会社の人間関係や、男女の恋愛においても起こります。人との関係が上手く結べない人は、無意識に相手の「パーソナル・スペース」に入り込んでしまっていることが原因かもしれません。

言い方を変えると、相手との「適正距離」の感覚が身につけば、人間関係が上手くいくのです。本書では相手の「パーソナル・スペース」を上手に保ち、いい関係をつくる、「相手との距離のとり方」をアドバイスします。

こんな人は必読！！

●苦手な人づき合いを克服したい方
●夫婦・彼氏彼女との関係に悩む方
●「うっとうしい」と思われたくない方
●交際が長続きしない方
●職場での人間関係に悩む方

●「期待してるよ」という言葉に隠された心理的意図とは？
●「どうしたらいい？」は女房が寂しがっている証し
●あなたの職場にもいる「より大きな声で話す」「一方的に、しゃべる」「頭ごなしに否定する」人の心理とは！？
●あなたは大丈夫？「距離感の読めない人」のタイプとは！？
●満員電車で不快感を感じる本当の理由
●初対面や目上の人には、真正面に立たないほうがいい

【 目 次 】

第１章 「人との距離感」を身につける
・なぜ満員電車のなかでは、誰もが「不機嫌を装う」のか
・敵か味方か、「はっきりさせないと不安」な深層心理
・どれだけ近寄ってくるかで自分への好感度がわかる
・距離感の読めない人は、「うっとうしい」と思われる
・「パーソナル・スペース」は、男女で大きな差がある
・「自分が望む距離」より、「相手が安心できる距離」がベター
・初対面や目上の人には、真正面に立たないほうがいい
・しぐさや距離で「敬意」を表し、表情で「親しみ」を表す
・交際が長続きしないのは、「距離の縮め方」が間違っている！
・「焦らずあわてず」が、人との適正距離をつめるコツ
・「親友だからなんでも話して」は、「なわばり侵害」のフレーズ
・自分と相手との「グレーゾーン」をうまく活用する

第２章 見えない「なわばり」が人間関係をつくる
・「細かいことにうるさい」のは、上司の「なわばり行動」
・「ためになるアドバイス」ほど、うっとうしい理由
・強固な「なわばり」ほど、内から崩れていく
・戦略としての「甘え」が、人間関係の「なわばり」を広げる
・「どうしたらいいの？」は、相手を引き戻すフレーズ
・「有名人と友だち」と自慢するのも、「なわばり行動」
・「身につけるもの」をプレゼントされたら要注意
・「知りたがリ」の人が、「うっとしい」と思われる理由
・「心理的なわばり」を侵犯すると、「善意の押し売り」になる
・善意を装った「なわばり拡張行動」に要注意

第３章 恋に必要な「男のなわばり」「女のなわばり」
・男女の「綱引き」がわからないと、いい恋愛ができない
・「斜め後ろ」からのアプローチで、「お近づき」になる
・なわばりを共有する「横並びポジション」で好感度はアップする
・「あなたのために」は、相手の「心理的なわばり」侵犯のフレーズ
・知り合いのいない場所では、「評価の水増し」が起こる
・男性の「押しの一手」が、あんがい通用する理由
・「押しの一手」の人が、「引いたとき」に効果が出る
・「ときめき」を感じなくなったのは、「なわばり」がないから
・「いつも一緒」より、「少し距離を置く」関係を
・恋愛は、お互いの「なわばり」を認め合って成立する
・夫婦といえども、相手の「なわばり」を無視してはならない

第４章 「なわばり感覚」が仕事をつくる
・「なわばり争い」が始まると、目先のことしか見えなくなる
・生き残るための「なわばり」で、自分の居場所がなくなる？
・相手の挑発に、むやみに乗ってはならない理由
・共通の目標を、お互いに確認する
・「私の立場でいわせてもらえば」は、「なわばりを守りたい」が本音
・「ねばならない」という言葉には、「なわばり意識」が働いている
・「嫌味をいう」のは、相手の「なわばり」に入りたくないから
・人と親しくなるほど、「なわばり感覚」にうとくなる
・偉くなるほど、「なわばり感覚」にうとくなる
・まめな「報告と相談」は、自分の身を守るために必要
・課長を素通りして、部長に直談判してはならない理由
・指示の出し方・叱り方でわかる、上司の「なわばり意識」
・部下を自分の机に呼びつけるのは、「なわばり」の誇示
・怒鳴る上司は「見せしめ効果」で、「なわばり」を強化する
・上司が通う「酒場」も、上司の「なわばり」と心得る
・机の配置替えで、部下の「なわばり」を変えてみる
・部下の「心理的なわばり」と、「社会的促進」の関係について

第５章 人間がわかる、おもしろ「なわばり」行動学
・なぜトラブルは、「身近にいる人」との間で起こるのか
・なぜお父さんは、まっすぐ家に帰ることができないのか
・なぜ人は、「聖地」へと通うのか
・なぜ「場違いな所」にいると、心が落ちつかないのか
・なぜ仕事机の周りは、散らかり放題になっていくのか
・なぜ「ライバル会社の悪口」をいってはいけないのか
・なぜ「かわいさ余って憎さ百倍」になるのか
・なぜ「なわばり意識」の強い親の子は、自立できないのか
・なぜ期待していた人に、「失望させられる」ことになるのか
・なぜ官僚や族議員は、「抵抗勢力」と呼ばれるのか
・なぜサッカーのサポーター同士は、「小競り合い」を起こすのか
・なぜ定年後の「田舎暮らし」がむずかしいのか

【 著 者 】

渋谷昌三

1946年神奈川県生まれ。東京都立大学大学院博士課程修了。
心理学専攻、文学博士。山梨医科大学医学部教授を経て、目白大学大学院心理学研究科・社会情報学科教授。
心理学における「非言語コミュニケーション学」を元に、多くの著書で、ビジネスから恋愛までさまざまな人間関係についてわかりやすく分析・解析している。

◆「人との距離感」が上手い人下手な人

http://itunes.apple.com/jp/app/rentono-ju-li-gan-ga-shang/id555236652?mt=8

――iPhone/iPad電子書籍アプリ一覧――
http://www.imcontent.biz/wordpress/

――――Amazon Kindle電子書籍一覧――――
http://amzn.to/13X3qs4

株式会社オープンアップス公式ＦＢページ
http://www.facebook.com/OpenAppsInc?ref=hl
リリース情報を随時更新中！

■当プレスに関するお問い合わせ先

会社名　：　株式会社オープンアップス
ＵＲＬ　：　http://openapps.co.jp/
所在地　：　東京都渋谷区桜丘町22-14 N.E.Sビル S棟 2,3F
ＴＥＬ　：　03-6681-4435
ＦＡＸ　：　03-5459-0741
ＭＡＩＬ：　press@openapps.co.jp
facebook　：　http://www.facebook.com/OpenAppsInc?ref=hl
事業内容　：　電子書籍・スマートフォンアプリ制作

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com